

記入例

中小企業信用保険法第2条第5項第7号の 規定による認定申請書

年 月 日

多治見市長 殿

申請者

住所

氏名

印

私は、東濃信用金庫 が経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整を行っていることにより、下記のとおり、借入れの減少が生じ、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第7号の規定に基づき認定されるようお願いします。

記

- 1 金融機関からの総借入金残高のうち、東濃信用金庫 からの借入金残高の占める割合 36.84%(A/B)
- A 令和6年12月31日の東濃信用金庫からの借入金残高 3,500,000円
- B 令和6年12月31日の金融機関からの総借入金残高 9,500,000円
- 2 東濃信用金庫からの借入金残高の減少率 22.22%((D-C)/D×100)
- C 令和6年12月31日の東濃信用金庫からの借入金残高 3,500,000円
- D 令和5年12月31日(Cの前年同期を記入のこと)の東濃信用金庫からの借入金残高 4,500,000円
- 3 金融機関からの総借入金残高の減少率 20.83%((F-E)/F×100)
- E 令和6年12月31日の金融機関からの総借入金残高 9,500,000円
- F 令和5年12月31日(Eの前年同期を記入のこと)の金融機関からの総借入金残高 12,000,000円

(注1) _____には、経済産業大臣が指定する金融取引の調整を行っている金融機関の名称を記入すること。

(注2) 申請者の全ての金融機関からの総借入金残高及び _____からの借入金残高が確認可能な残高証明書、財務諸表、借入証書等を添付すること。

(留意事項)

- ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 市町村長又は特別区長から認定を受けた日から30日以内に金融機関又は信用保証協会に対して、保証の申込みを行うが必要です。

多商第 _____号
年 月 日

上記申請のとおり相違ないことを認定します。

保証協会への申込期間: _____年 月 日から _____年 月 日まで

多治見市長 高木 貴行